

河川堤防・河川構造物の地質調査 留意すべき地盤

軟弱地盤（湿地帯、湿田帯、自然堤防や海岸などの後背地、変状が発生している箇所など）

透水性地盤（扇状地、自然堤防、旧河道の締切り箇所、堤内地での漏水発生箇所など）

液状化地盤（旧河道、埋立地、地下水位の浅い沖積低地、液状化履歴のある箇所など）

河川堤防・河川構造物の地質調査：計画のポイント①

検討すべき項目と必要な地盤情報・調査手法

すべり破壊：成層状態、強度など ⇒ ボーリング、乱れの少ない試料採取、土質試験など

圧密沈下：成層状態、圧密特性など ⇒ ボーリング、乱れの少ない試料採取、土質試験など

透水性：成層状態、透水係数、地下水分布など ⇒ ボーリング、現場透水試験など

液状化：成層状態、地下水位、強度など ⇒ ボーリング、土質試験など

河川堤防・河川構造物の地質調査：計画のポイント②

段階的調査と調査手法の合理的な組合せ

予備調査：成層状態、強度など ⇒ 地質調査資料、地形図、治水地形分類図、湧水状況など

本調査（第一次）：地盤の構成・強度・支持層の把握 ⇒ ボーリング、サウンディングなど

本調査（第二次）：留意すべき地盤の詳細把握 ⇒ ボーリング、サウンディング、土質試験など

河川堤防・河川構造物の地質調査：計画のポイント③ 関連基準・法令など

国土交通省河川砂防技術基準 調査編

『改訂3版 地質調査要領 効率的な地質調査を実施するために』を参考に作成

河川堤防・河川構造物の地質調査 積算時の留意事項

軟弱地盤解析：複数断面検討の解析人件費は解析項目に応じた割増率を適用

現場透水試験：現場条件や調査項目に応じた適切な試験方法の選定と積算

砂質土のサンプリング：サンプリング方法に応じた掘削孔径の選定

一般調査業務とコンサルティング業務の両者に計上される項目（現地踏査など）の適切な積算計上